

## 平成29年産米の稲作反省と次年度対策

### 1 平成29年産米の作柄と品質の概況

今年の稲作期間は、6月の異常低温による茎数確保の遅れや8月の低温・日照不足による登熟の遅れ、またコシヒカリの出穂期には台風5号、収穫期には18号が襲来するなど、気象変動の激しい年となり、作況は下越北で98、新潟県は96のやや不良となりました。

品質面では、低温・日照不足により、特に遅植えや晩生品種で未熟粒が多くなりましたが、籾数が少なかったことや高温登熟が回避されたことから、阿賀野市の1等米比率はコシヒカリ89.3%（前年同）、こしいぶき90.3%（前年81.6%）で品質の良かった昨年同様に高品質米が確保されました。

ただ、安田地域や分田地区ではカメムシによる斑点米の多発生による等級低下が多く見られ、課題が残りました。

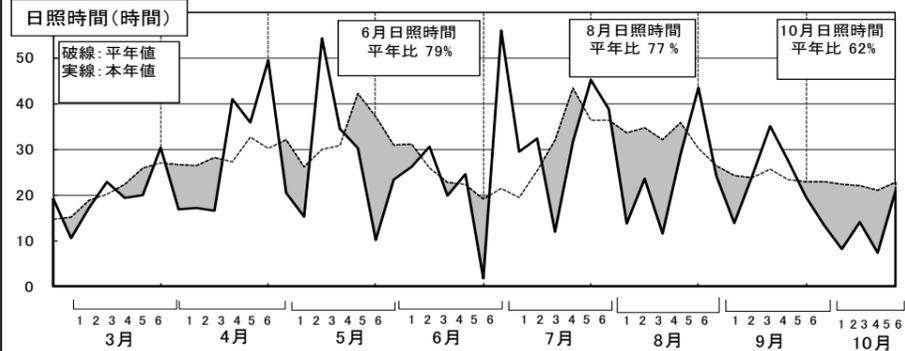
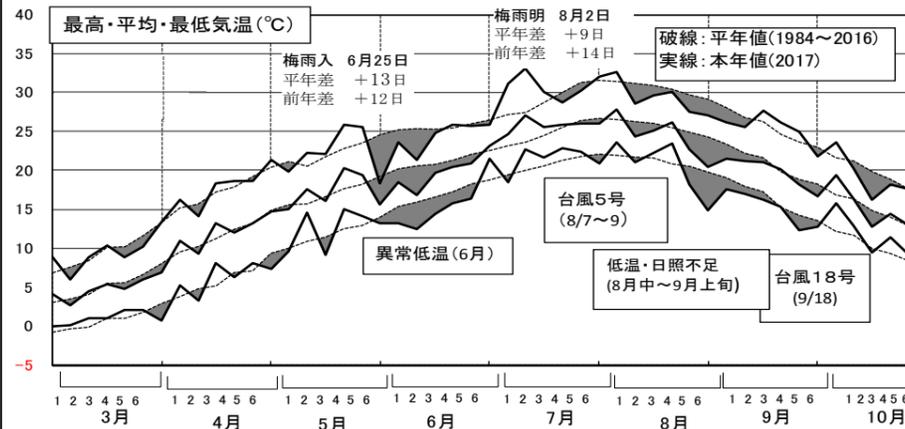
表1 作柄概況と1等級比率(主食用米 11月末現在)

作況指数	区分	1等級比率(%)	
		コシヒカリ	こしいぶき
下越北 98 (やや不良)	J A北蒲みなみ水原	93.8	92.9
	J A北蒲みなみ安田	79.6	71.0
新潟県 96 (やや不良)	J A北蒲みなみ京ヶ瀬	96.2	98.7
	J Aささかみ	90.0	92.9
全国 100 (平年並)	阿賀野市	89.3	90.3

### 2 稲作期間の気象経過と特徴

平成29年度稲作期間気象図

観測場所: 新発田市農業サポートセンター(新発田市下羽津)



#### 水稻の作柄に影響の大きかった気象要因

6月の平均気温・日照時間(°C・時間)

	平年	本年	差・比
平均気温	20.7	18.6	-2.1
日照時間	169.8	134.3	79%

7月上中旬(1~4半旬)の平均気温

	平年	本年	差
平均気温	23.4	25.1	+1.7

7月・8月の降水量(mm)

	平年	本年	比(%)
7月	229	529	231
8月	173	345	199

コシヒカリ登熟期(8月3半旬~9月4半旬)の平均気温・日照時間(°C・時間)

	平年	本年	差・比
平均気温	24.3	22.8	-1.5
日照時間	240.3	182.9	76%

10月上旬(1~2半旬)の日照時間

	平年	本年	比
日照時間	45.7	32.9	72%

※用語解説

上旬:1日~10日、中旬:11日~20日、下旬:21日~30日(31日)  
1半旬:1日~5日、2半旬6日~10日...6半旬:26日~30日(31日)

### 3 作柄や品質に影響した主な事項

穂数 早生: 並 中生: 並~やや多	<ul style="list-style-type: none"> <li>苗質: 並</li> <li>活着: 並~やや良</li> <li>葉害: 除草剤の葉害発生やや多(5月中・下旬移植中心)</li> <li>分けつ前中期: 2号分けつの発生は少~やや少</li> <li>ワキの発生: やや早く、多い</li> <li>6月1~6半旬異常低温</li> <li>7月1半旬以降葉色高めに推移</li> <li>草丈急伸長</li> <li>コシヒカリは1回目穂肥控えめ</li> <li>弱小分けつ多発生(7月中旬の高温により茎数淘汰)</li> </ul>	問題となった事項
一穂籾数 早生: 少 中生: 少	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月4半旬~5半旬葉色低下</li> <li>幼穂伸長期間短縮</li> <li>8月中旬以降の低温・日照不足(登熟遅延・登熟不良)</li> <li>台風5号(8/8)による強風被害(白穂・変色籾発生)</li> <li>倒伏程度: やや少~並(9/18台風18号以降倒伏進む)</li> <li>病害虫の発生による登熟不良(一部地域・品種で、穂いもち、紋枯病、墨黒穂病発生)</li> <li>出穂後の葉色やや濃く推移</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除草剤による葉害の発生が多かった</li> <li>下位分けつの確保が遅れ、弱小分けつが多くなった</li> <li>台風に伴う強風により白穂・変色籾の発生</li> </ul>
㎡籾数 早生: 少 中生: やや少	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月4半旬~5半旬葉色低下</li> <li>幼穂伸長期間短縮</li> <li>8月中旬以降の低温・日照不足(登熟遅延・登熟不良)</li> <li>台風5号(8/8)による強風被害(白穂・変色籾発生)</li> <li>倒伏程度: やや少~並(9/18台風18号以降倒伏進む)</li> <li>病害虫の発生による登熟不良(一部地域・品種で、穂いもち、紋枯病、墨黒穂病発生)</li> <li>出穂後の葉色やや濃く推移</li> <li>籾数減で登熟歩合やや良</li> <li>断続的な降雨で土壌水分確保</li> <li>登熟期の低温・寡照により登熟緩慢</li> <li>晩生品種等で青未熟粒多く品質低下</li> <li>カメムシによる斑点米多発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病害発生に伴う登熟不良(穂いもち、紋枯病、墨黒穂病など)</li> <li>カメムシによる斑点米が多発生</li> </ul>
千粒重 早生: やや少 中生: 並~やや大	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月4半旬~5半旬葉色低下</li> <li>幼穂伸長期間短縮</li> <li>8月中旬以降の低温・日照不足(登熟遅延・登熟不良)</li> <li>台風5号(8/8)による強風被害(白穂・変色籾発生)</li> <li>倒伏程度: やや少~並(9/18台風18号以降倒伏進む)</li> <li>病害虫の発生による登熟不良(一部地域・品種で、穂いもち、紋枯病、墨黒穂病発生)</li> <li>出穂後の葉色やや濃く推移</li> <li>籾数減で登熟歩合やや良</li> <li>断続的な降雨で土壌水分確保</li> <li>登熟期の低温・寡照により登熟緩慢</li> <li>晩生品種等で青未熟粒多く品質低下</li> <li>カメムシによる斑点米多発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病害発生に伴う登熟不良(穂いもち、紋枯病、墨黒穂病など)</li> <li>カメムシによる斑点米が多発生</li> </ul>
品質 早生: 並 中生: やや良	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月4半旬~5半旬葉色低下</li> <li>幼穂伸長期間短縮</li> <li>8月中旬以降の低温・日照不足(登熟遅延・登熟不良)</li> <li>台風5号(8/8)による強風被害(白穂・変色籾発生)</li> <li>倒伏程度: やや少~並(9/18台風18号以降倒伏進む)</li> <li>病害虫の発生による登熟不良(一部地域・品種で、穂いもち、紋枯病、墨黒穂病発生)</li> <li>出穂後の葉色やや濃く推移</li> <li>籾数減で登熟歩合やや良</li> <li>断続的な降雨で土壌水分確保</li> <li>登熟期の低温・寡照により登熟緩慢</li> <li>晩生品種等で青未熟粒多く品質低下</li> <li>カメムシによる斑点米多発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病害発生に伴う登熟不良(穂いもち、紋枯病、墨黒穂病など)</li> <li>カメムシによる斑点米が多発生</li> <li>晩生品種の登熟遅延・不良</li> </ul>

### 4 次年度に向けた課題と対策

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1 カメムシによる斑点米防止対策の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> <li>出穂時期に合わせた適期防除(個人防除)の徹底。</li> <li>畦畔農道の草刈り及び水田内除草(ヒエ、スズメノテッポウ、ホタル等)の徹底</li> </ul> |
| 2 災害(強風等)に備えた土づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>堆肥やケイ酸施用による土づくりの推進</li> </ul>  |
| 3 初期生育の安定確保         | <ul style="list-style-type: none"> <li>除草剤の適正使用(強風・ワキ・異常高温時の散布回避)</li> <li>適正な水管理の実施(漏水防止、保温的水管理)</li> </ul>            |
| 4 品種の特性を踏まえた病害予防対策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新之助のいもち病、紋枯病対策の徹底</li> <li>わたぼうしの墨黒穂病対策の徹底</li> </ul>                            |
| 5 晩生品種の極端な遅植え回避     | <ul style="list-style-type: none"> <li>晩生品種の遅植え回避(適正範囲で田植え)</li> </ul>  |